

平成 14 年 10 月 11 日

## 第 13 回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会実施報告書

実施日： 7 月 30 日(火)午後 12:00～31 日(水)午前 11:00

会場：九州地区国立大学九重共同研究所（〒879-49 大分県玖珠郡九重町筋湯）

参加者総数： 130 名（内訳：学生 113 名、教職員・一般 17 名）

担当校：熊本大学（廣瀬・後藤研究室）

\*化学工学誌 6 月号および 7 月号に会告掲載

### 討論会実施内容

第一日目 12 時からの参加者受付・参加研究室自己紹介に引き続いて、下記特別講演 2 件（各 40 分）を行った。

1. 「グローバル化戦略 –スタートはひとつの技術開発であった–」

株式会社西部技研 代表取締役

社長 隈 扶三郎 氏

2. 「平生“非定常状態”のススメ」

日本ベル株式会社 技術開発部 吉

田将之 氏

この後、研修所近くの九州電力八丁原地熱発電所の見学会を実施したが雷警報発令により建屋内部だけの見学に制限された。この発電所見学について一部学生は既に見学済みということもあり自由参加とし、約 60 名の参加者であった。

### ポスター発表

夕食・入浴の後、19:30 から 21:30 までポスター発表を行った。発表総数 57 件を奇数番号と偶数番号に分けて各 1 時間ずつをポスター前での説明時間とした。この間、教職員および一般参加者 17 名にポスター賞審査を依頼し、投票方式によりポスター賞受賞者を決定した。ポスター賞受賞者と獲得票数は以下の通りである。なお、ポスター賞授賞式は 2 日目の総合討論に先立ち行い、賞状および副賞（図書券 4000 円）を授与した。

長谷川 泰久	（九州大学）	8 票
樋之口 大作	（鹿児島大学）	4 票
下山 裕介	（九州大学）	3 票
本田 知之	（鹿児島大学）	3 票



ポスター賞受賞者の皆さん

ポスター発表時間終了後に懇親会を行った。

第二日目は9時よりQ- NET 企画講演会として外輪健一郎先生（九州大学大学院工学研究院 応用化学部門）に「ある留学経験者から学生へのメッセージ」と題して約1時間の講演をお願いした。この後の学生幹事司会による総合討論では本討論会の会計報告と次回担当校（鹿児島大学）の紹介を行い、閉会・解散とした。